

原子力施設等におけるトピックス
(令和3年11月15日～11月21日)

令和3年11月24日
原子力規制庁

○令和3年11月15日～11月21日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

○主要な原子力事業者(*)の原子力事業所内で令和3年11月15日～11月21日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に係る事案で、事業者がプレス公表したもの

*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃(株)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
11月12日	東京電力ホールディングス株式会社	福島第一原子力発電所	福島第一原子力発電所5号機非常用ディーゼル発電機(A)過給機出口配管フランジ溶接部における貫通した亀裂の確認について	事業者プレス公表
11月16日	九州電力株式会社	玄海原子力発電所	特定重大事故等対処施設の工事現場における火災の発生について	事業者プレス公表

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス 該当なし

<その他> 該当なし

別紙1 東京電力ホールディングス株式会社 HP 掲載資料

別紙2 九州電力株式会社 HP 掲載資料

福島第一原子力発電所 5号機非常用ディーゼル発電機（A）過給機出口配管フランジ溶接部における貫通した亀裂の確認について

< 参 考 資 料 >
2021年11月12日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 昨日（11月11日）午前11時55分頃、5号機非常用ディーゼル発電機（A）の定期点検後、試運転を実施していたところ、2台ある過給機^{※1}のうち1台の過給機出口配管フランジ溶接部付近から、当該発電機の排気ガスが漏えいし、漏えいした排気ガスが凝縮し液だれしている（床面への滴下無し）ことを、協力企業作業員が確認しました。同日午後0時13分に当該発電機の運転を停止し、排気ガスの漏えいが停止したことを確認しました。
- 本日（11月12日）、当該発電機の2台の過給機出口配管フランジ溶接部の浸透探傷試験^{※2}を行ったところ、排気ガスが漏えいした箇所において、長さ約200mmの線状の傷（亀裂）があることを確認し、その一部が貫通しているものと判断しました。また、その他箇所においても、線状の傷（4箇所）およびへこみ状の傷（1箇所）を確認しました（スライド3参照）。
- なお、5号機および6号機においては、当該発電機以外の非常用ディーゼル発電機（3台）が待機状態であり、非常用電源が確保されています。
- 今後、速やかに原因究明を行うとともに対策を講じてまいります。
- なお、当該配管の亀裂部から漏えいした排気ガスは、ディーゼル機関の燃焼の過程で発生したものであり、有意な放射性物質は含んでおらず、モニタリングポストならびに敷地境界連続ダストモニタの指示値にも有意な変動がないことを確認しています。

※1：排気ガスをタービンにあてて回転させ、タービンと直結されたブロワも回転し、ブロワによりエンジンへの吸入空気量を増やす機器

※2：材料表面に浸透液を浸透させ、浸透液を毛細管現象により表面に吸い出し、拡大されて現れた模様を観察して表面きずを調べる方法

【参考】 過給機出口配管フランジ溶接部の状況



写真1. 当該の過給機出口配管フランジ溶接部



写真2. 当該の過給機出口配管フランジ溶接部 (漏えい部拡大)

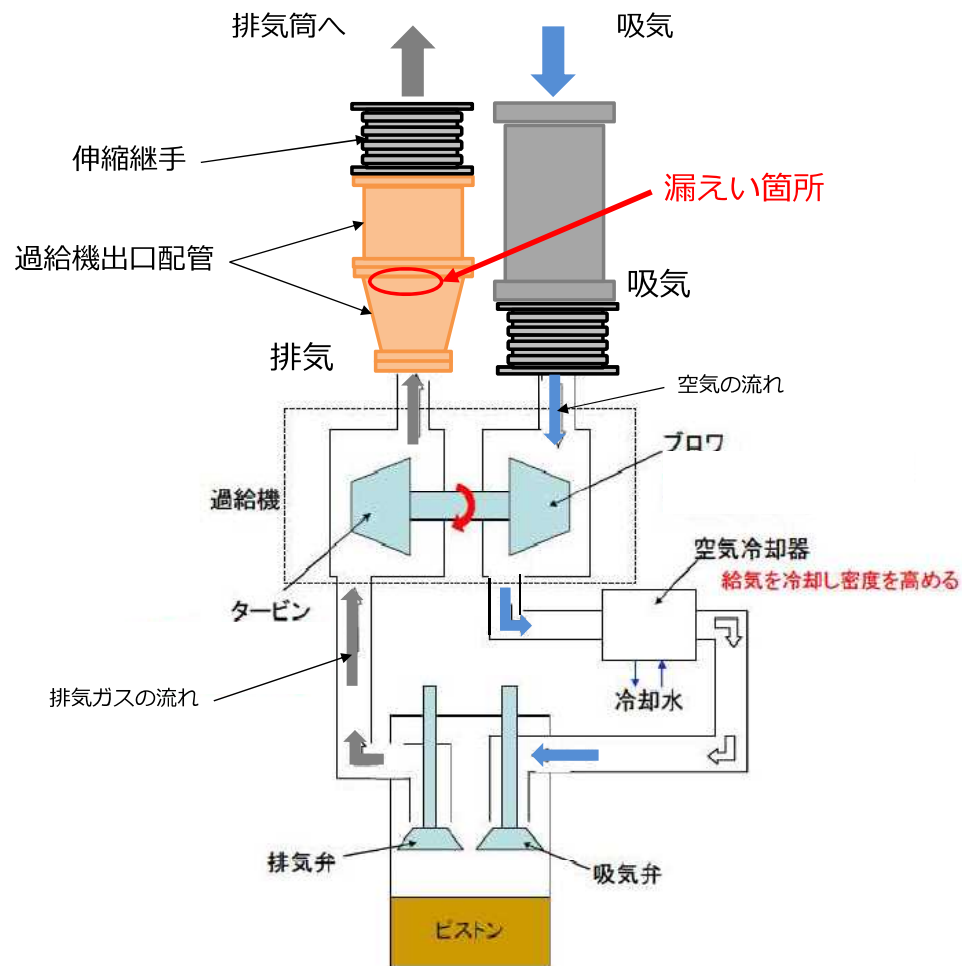


図1. 過給機概要図

【参考】 過給機出口配管フランジ溶接部における浸透探傷試験結果

<当該配管>

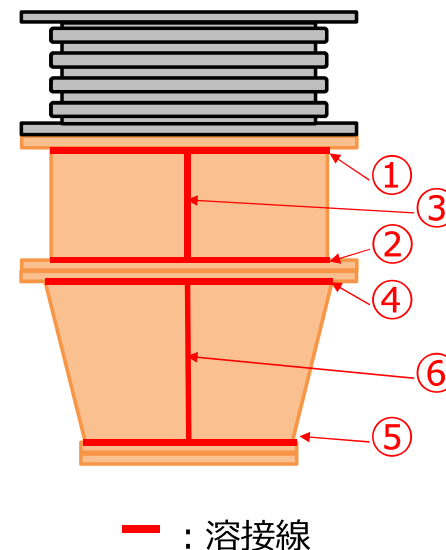
指示模様

- ① なし
- ② なし
- ③ なし
- ④ **あり** 線状の傷2箇所(約200mm,約150mm)
- ⑤ **あり** 線状の傷1箇所(約30mm)
- ⑥ なし

<当該配管と別の配管>

指示模様

- ① なし
- ② **あり** へこみ状の傷1箇所(直径・深さとも約2mm)
- ③ なし
- ④ **あり** 線状の傷2箇所(約80mm,約110mm)
- ⑤ なし
- ⑥ なし



お知らせ

2021年11月16日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所 特定重大事故等対処施設の工事現場における火災の発生について

当社は、本日2時頃、玄海3，4号機の特定重大事故等対処施設の工事現場において使用していた電源ケーブルを巻き取る電工ドラム付近から、発火及び発煙を確認したため、消火活動を行うとともに公設消防へ通報を行いました。

同消防により、3時5分、鎮火していることが確認されました。

現在、現場確認及び原因調査を行っており、判明次第、お知らせいたします。

本事象による、玄海3，4号機の運転及び玄海1，2号機の廃止措置に影響はありません。また、作業員の負傷や、放射性物質の放出はなく環境への影響はありません。

以 上

(参考)

電工ドラム：工事現場で使用する機器の電源ケーブルを巻き取る機器